

<h1>組NEWS合</h1>	<p>2010年7月26日</p>	<p style="text-align: center;">この号の内容</p>
<p>Faculty and Staff Union of Kanazawa University 発行：金沢大学教職員組合執行委員会 住所：金沢市角間町 角間内線2105 直通電話(076)262-6009 (FAX同じ) E-mail kanazawa@ku-union.org ホームページ http://www.ku-union.org/</p>	<p>通巻 1142 号</p>	<p>組合費のチェックオフが実現 1P 組合声明 中期財政フレームの 国立大学への適用に反対 2P 新入組合員歓迎会の感想 3P 教研集会の案内、送別会の案内 4P</p>

組合費の賃金控除(チェックオフ)が実現

現在、教職員組合の組合費は、銀行や郵便局の口座からの引き落としになっています。引き落としの度に105円～155円の手数料を支払っています。これを、財形積み立てや宿舍使用料などと同様に、大学が賃金から天引きした上で、まとめて組合に支払われれば、業者にこの手数料を支払う必要がなくなります。こうした仕組みを組合費の賃金控除(チェックオフ)と呼び、日本の労働組合のほとんどがこのシステムをとっています。

また現行の銀行引き落としでは、新しく組合員が加入した際、銀行印を捺印した引き落とし証明書を提出してもらわなければならない、新規組合員を拡大する上で大変大きな障害になっていました。

チェックオフを実施するには労使協定が必要ですが、実は本学では、国立大学法人発足後の2004年4月1日に、「賃金控除に関する協定」が締結され、速やかにチェックオフを実施することが確認されています。

にもかかわらず実施が現在まで遅れに遅れたのは、もっぱら技術的要因によるものでした。金沢大学では、国立大学時代の古い給与支払いソフトに基づいたシステムを部分的にツギハギして使っていたからです。「給与体系が複雑化していて、とても新たな控除項目の設定はできない、数年後には全面的に新しいシステムに移行するので、それまで待ってほしい」というのが、ここ数年の人事課の答弁でした。

そして本年3月17日に、人事課副課長がシステム管理の現場担当者とともに組合側との交渉に応じ、「2010年度から新しい給与支給システムに移行する

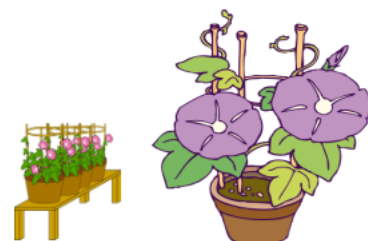
ので、4月以後、新システムの安定的な運用を確認したあと、教職員組合費のチェックオフを実施したい。秋口から試験的に行い、全面実施は2011年4月をメドとする」と明言しました。

組合としてもここ数年要求してきたことが実現するわけですから、大いに歓迎するとともに、早急に内部調整が必要になります。

組合費のチェックオフを実施するためには、組合員の方からの承諾が必要となります。支部、分会よりその旨ご了承いただきご連絡を差し上げます。何卒チェックオフの実施にご協力くださいますようお願いいたします。

チェックオフの唯一のデメリットは、大学に組合員の名簿を提出しなければならないことです。勿論大学は組合が提出した名簿をチェックオフ以外に使用することは許されていません。しかし、もし組合員であることを大学に知られるのはどうしても嫌だとお考えの方は、現行通りの方法を継続しますのでその旨お申し出ください。

その他ご質問・ご意見がありましたら、お近くの支部、分会の役員か、組合事務所まで直接お問い合わせ下さい。



「中期財政フレーム」の国立大学への適用に反対する

「中期財政フレーム」の国立大学への適用に反対を！
来年度概算要求8%シーリングの閣議決定を許すな！
金沢大学長は国大協の声明に応じて態度表明すべき！

菅政権は6月22日、「財政運営戦略」を決定しました。その中の『中期財政フレーム』において、平成23年度からの3カ年は「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」の一体的実現に向けて始動する「第1ステージ」と位置づけて、「基礎的財政収支対象経費」（国の一般会計歳出のうち、国債費及び決算不足補てん繰り戻しを除いたもの）について前年度当初予算を実質的に上回らないこととする決定をした。すなわち、2010年度（71兆円）以下に抑えるという歳出の原則を盛り込んだ。

この決定に危機感を持った国大協は平成23年度シーリング試算を行った。それによると「政策的経費」は年率8%の減となる。大学の人件費を含む国立大学法人運営費交付金もその対象とされ、削減額は、単年度だけでも927億円（3年間の総額で約2,800億円）と、平成16年度から22年度の6年間の減額の総合計（830億円）を上回るものとなる。このようなことが実施されると大学の教育・研究は壊滅的打撃を受けることになる。そこで国大協は各大学に対して行動を起こすよう7月1日に声明を出した。また、私立大学等経常費補助もその対象となることが予想されることから、国大協と私大連は7月14日に「「新成長戦略」の原動力は「強い大学」と共同で声明を出した。こうした動きを受けて、新潟大学（7月5日）、千葉大学（7月12日）の学長は声明を出した。国立大学法人32大学理学部長会議も7月10日に声明を発表している。

さて、7月9日に行われた団交において、私たちの統一要求に対して当局は全くのゼロ回答であった。パート職員の一時金要求に対しても、附属学校の入試手当に対しても、看護師の夜勤手当に対しても、非常勤職員の常勤化要求に対しても全くのゼロ回答であった。法人化以降、特に仕事が増え労働が強化される中、昨年は「社会一般の情勢に適合」してボーナスカット、賃金引き下げが行われたのであった。金沢大学に働く教職員は労働意欲を減退させてしまった。このような状況に追い込んだ私たちに対して、さらに金沢大学当局は菅政権が決定した「中期財政フレーム」の国立大学への適用を唯々諾々として実施するのであるか。そうであるならば、一切の責任を「消費税の増税」と共に労働者に押しつけて乗り切っていこうとする菅政権と同じである。でなければ、直ちに国大協の声明に応じて「中期財政フレーム」の国立大学への適用に反対し声明をだすべきである。

先の参議院選挙において、前鳩山首相が退陣する契機となった普天間問題が隠されて、菅首相が言い出した「消費税増税」がその焦点となった。他方、それに対して「国家公務員を10万人削減、公務員給与を2割カット、ボーナスを3割カット」を主張し公務員に対してその矛先を向けた党が躍進した。今後さらに、公務員攻撃が激しくなることが予想される。こうした中、「8%運営費交付金削減」が実施されていくなれば、「社会一般の情勢に適合して」「国からお金をもらっているから」としてボーナスカット、賃金の引き下げを実施した当局は、今度は「運営費交付金が減らされたから」と私たちの賃金を引き下げてくることは必至である。

私たちは、菅政権による「中期財政フレーム」の国立大学への適用に反対すると同時に、金沢大学長に国大協の声明に応じて態度表明すべきことを訴える。

2010年7月22日

金沢大学教職員組合 第24回執行委員会

6月25日 組合歓迎会に参加して

今年も新しい組合員さんをお迎えしました

21世紀美術館内のレストランFusion21にて新入組合員歓迎会を開催しました。

参加者は新入組合員5名を含め総勢37人で、賑やかな会となり、組合員間の交流も深まりました。午後6時からのイベントとして、21世紀美術館の無料ゾーンを大村雅章さん（学校教育学類）に解説をしていただきました。



「組合活動を盛り上げて」

去年の10月から総合メディア基盤センターに所属致しました富田洋と申します。

先日の新入組合員歓迎会にご招待していただき、大変ありがとうございました。とても有意義な時間を過ごさせていただきました。



お恥ずかしながら普段このような素敵なイベントに参加することはないので、緊張してあまり会話ができなかったことをこの場でお詫び申し上げます。

しかしながら、今回のような食べ放題は個人的にうれしいイベントなので、これから機会がありましたら、ぜひ参加したいと思っておりますので、その時はよろしく願います。

教職員組合に加入するのは初めてで活動内容などをまだよく知りませんが、何かご協力できることがありましたら、微力ながら組合に貢献できればと思っております。その際、ご教授・ご指導を頂ければ幸いです。

これからもどうぞよろしく願います。

(富田 洋)

「組合は所属を越えてつながる場」

金沢21世紀美術館の中のレストランで行われた組合歓迎会に新入組合員として参加させていただき、大変楽しい時間を過ごすことができました。

普段は自分の所属する学系内での付き合いしかなく、学系・研究域を超えるには壁のようなものがあるように感じていました。この度、組合の行事に参加させていただき、組合はその壁が取り払われた場であること、また、自分とは異なる所属の先生方とお話できることは非常に有意義であることが実感でき、そして、組合の重要性を認識することができました。

最後に、歓迎会のお世話をしてくださった皆様に深く感謝いたします。(T)

組合員 各位
2010年7月22日
金沢大学教職員組合
選挙管理委員長 松田洋介
公 示

2010年度金沢大学教職員組合役員選挙の開票が、7月21日(水)午後5時30分より行われ、右記の通り候補者全員が信任されましたのでお知らせ致します。得票率は67.2%でした。

執行委員長(1名)	喜成年泰	工学部分会 (機械工学系)	教員
副執行委員長(1名)	末松大二郎	理学部分会 (数物科学系)	教員
書記長(1名)	石黒盛久	角間北支部 (歴史言語文化学系)	教員
書記次長(1名)	西嶋義憲	角間北支部 (経済学経営学系)	教員
会計委員(1名)	池下研一郎	角間北支部 (経済学経営学系)	教員
執行委員(6名)	池田良枝	四分會支部 (附属病院)	看護師
々	大瀧幸子	角間北支部 (歴史言語文化学系)	教員
々	大西元	工学部分会 (機械工学系)	教員
々	廣瀬尋理	附属学校園支部 (附属中学校)	教員
々	細見博志	四分會支部 (保健学系)	教員
々	吉田博一	工学部分会 (理工研究域)	技職員
監査委員(3名)	田邊浩	角間北支部 (人間科学系)	教員
々	趙菁	角間北支部 (外国語教育研究センター)	教員
々	土井妙子	角間北支部 (学校教育系)	教員

教 研 集 会

教職員の多忙化問題

法人化から6年、学域再編から2年 ますます忙しくなる職場

日 時 **7月30日 (金)**
18:00~20:00

場 所 **自然科学5号館 大講義室 (2階)**
(旧理学部棟)

お弁当を用意します。

ご参加の方は7月28日(水)までに支部、分会役員、
又は、組合事務所までご連絡下さい。
組合員でない方の参加も歓迎します。是非、まわりの方
へもお声をかけて下さい。

連絡先 金沢大学教職員組合
E-Mail kanazawa@ku-union.org
電 話 262-6009 内線角間2105



長谷川典子さん送別会のご案内

このたび、書記として長年にわたって組合を支えて来られた長谷川さんが定年を迎えられ、8月末日をもちまして退職されます。つきましては長谷川さんのこれまでの功労に敬意を表し、感謝を申し上げる気持ちを込めて送別会を開催いたします。

皆様万障お繰り合わせの上、ぜひご参加下さい。
ご参加のご連絡は組合事務所までお願いいたします。
詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。

日 時：8月27日 (金) 19:00 (予定)

場 所：調整中

申込先：組合事務所

電話：262-6009,角間内線:2105 ; E-Mail : kanazawa@ku-union.org

